

## 平成 21 年度宮城県商店街空き店舗実態調査結果について

### ● 調査概要

(1) 調査基準日 平成 21 年 6 月 1 日現在

(2) 調査対象

- ・ 県内の商店街振興組合連合会，商工会議所及び商工会が把握している商店会等であって，商店会等の区域全体の店舗（原則として組合員等の店に限定せず。）を対象にしています。ただし，商店会等がない町村については，商工会が把握しているものも含んでいます。
- ・ 休眠状態の商店会及び大規模小売店舗内のテナントは除いています。

(3) 調査方法

商工会連合会（商工会），商工会議所，商店街振興組合連合会を通じて各商店会等に調査票を配布，回収

(4) 調査項目

空き店舗数，空き店舗解消の課題事項，商店街で今後強化していきたい事項等

### ● 定義

この調査では，営業店舗，空き店舗，テナント待ち空き店舗は次のように定義しています。

(1) 「営業店舗」

- ・ 調査に協力していただいた各商店街等の区域内の，現に営業している小売業，飲食業，サービス業等の店舗（消費者が商品やサービス等の購入ができる場所）  
例：百貨店，総合スーパー，大型ディスカウント店等の大規模小売店舗，衣料，食品，日用品，薬店，コンビニ等の小売店舗，飲食店，病院，金融機関，理美容，クリーニング，レンタルショップ，遊技場，塾等のサービス店等
- ・ 大規模小売店舗は全体で 1 店舗とカウントしています。
- ・ 「小売業，飲食業，サービス業等の店舗」ではない事務所は除いています。

(2) 「空き店舗」

- ・ 従前店舗として利用された建物で，廃業，移転等により現在は空きスペースとなっているもの。利用者が現れるまでの間，暫定的に車庫，物置等として使用しているものも含めています。
- ・ ただし，建物が撤去され，駐車場や空き地，住宅等になった場合は除いています。

(3) 「テナント待ち空き店舗」

- ・ 「空き店舗」のうち，テナント待ちの状態店舗として活用できるものとしています。

### 留意事項

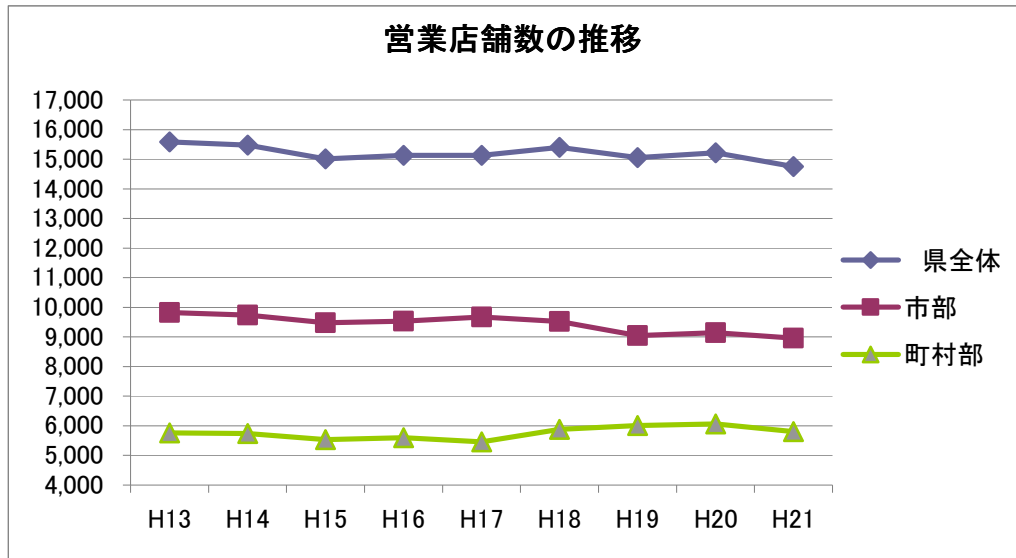
- 1 この調査は，平成10年度からアンケート方式により，各商店会，商工団体の御協力を得て実施していますが，御協力いただいた商店会は毎年同一ではなく，また，営業店舗数等に大きな変動がある回答も見受けられることから，あくまで「県内商店街の空き店舗状況の傾向」として御理解ください。
- 2 H17年度以降に合併した石巻市，登米市，栗原市，東松島市，大崎市，気仙沼市は，旧市町村単位で区分しています。

● 調査結果の概要  
回答商店会等数

平成 21 年度 299 [旧市部 143, 旧町村部 156]

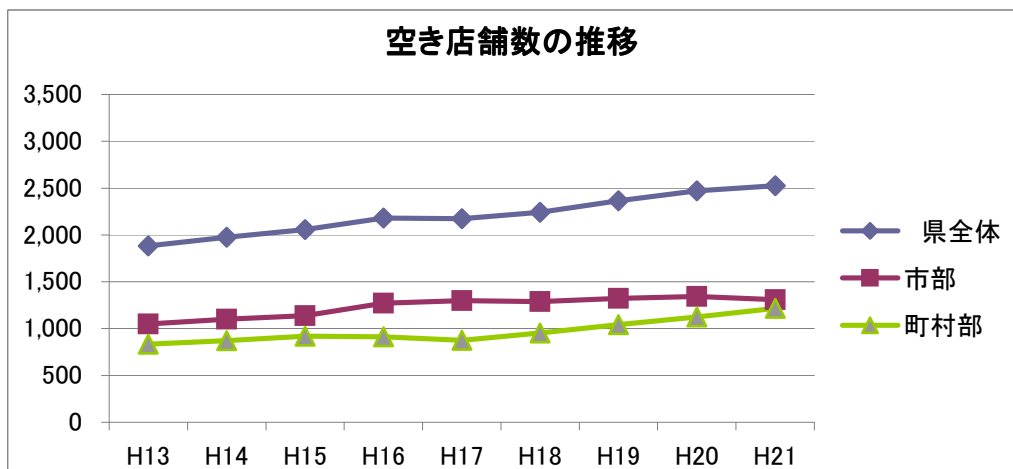
1-1 営業店舗数

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
県全体	15,580	15,473	15,015	15,135	15,134	15,404	15,054	15,218	<b>14,756</b>
市部	9,820	9,734	9,480	9,531	9,675	9,520	9,045	9,149	<b>8,956</b>
町村部	5,760	5,739	5,535	5,604	5,459	5,884	6,009	6,069	<b>5,800</b>



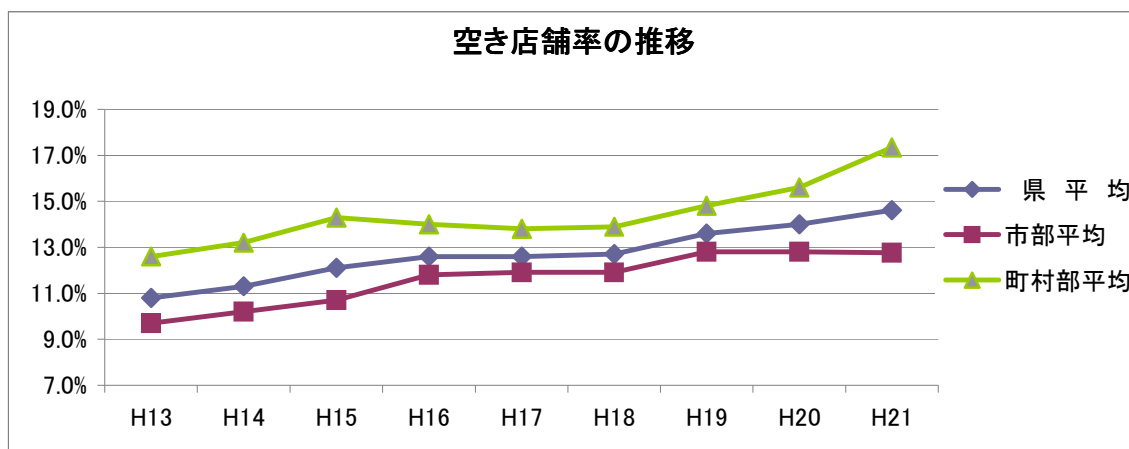
1-2 空き店舗数

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
県全体	1,883	1,974	2,058	2,182	2,174	2,242	2,365	2,470	<b>2,527</b>
市部	1,049	1,101	1,138	1,270	1,298	1,289	1,324	1,344	<b>1,310</b>
町村部	834	873	920	912	876	953	1,041	1,126	<b>1,217</b>



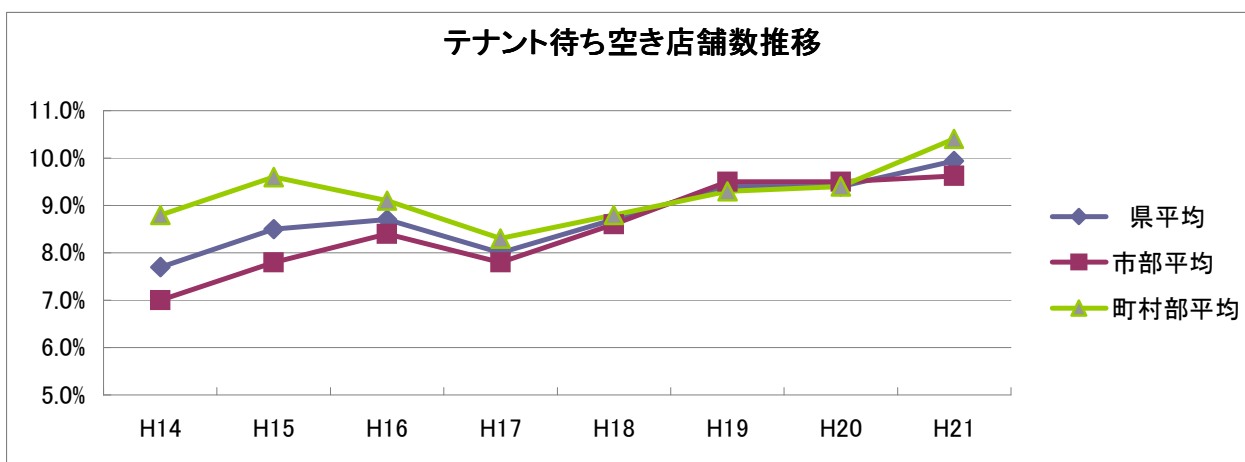
### 1-3 空き店舗率

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
県平均	10.8%	11.3%	12.1%	12.6%	12.6%	12.7%	13.6%	14.0%	14.6%
市部平均	9.7%	10.2%	10.7%	11.8%	11.9%	11.9%	12.8%	12.8%	12.8%
町村部平均	12.6%	13.2%	14.3%	14.0%	13.8%	13.9%	14.8%	15.6%	17.3%



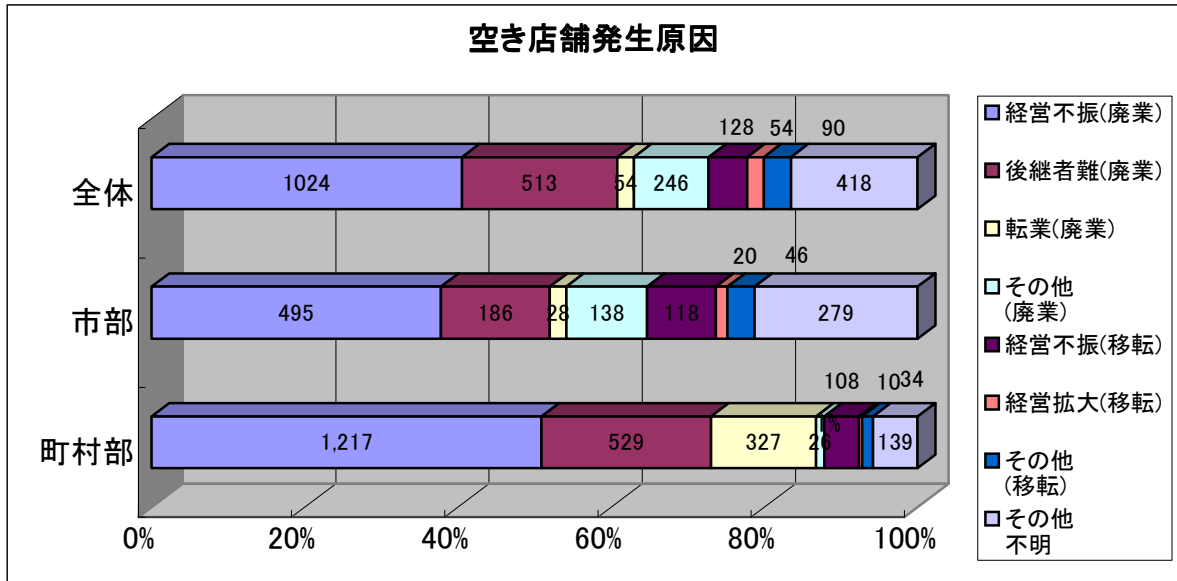
### 1-4 上記空き店舗のうち、テナント待ちにある空き店舗数及び率

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H21店舗数
県平均	7.7%	8.5%	8.7%	8.0%	8.7%	9.4%	9.4%	9.9%	1,718店
市部平均	7.0%	7.8%	8.4%	7.8%	8.6%	9.5%	9.5%	9.6%	988店
町村部平均	8.8%	9.6%	9.1%	8.3%	8.8%	9.3%	9.4%	10.4%	730店



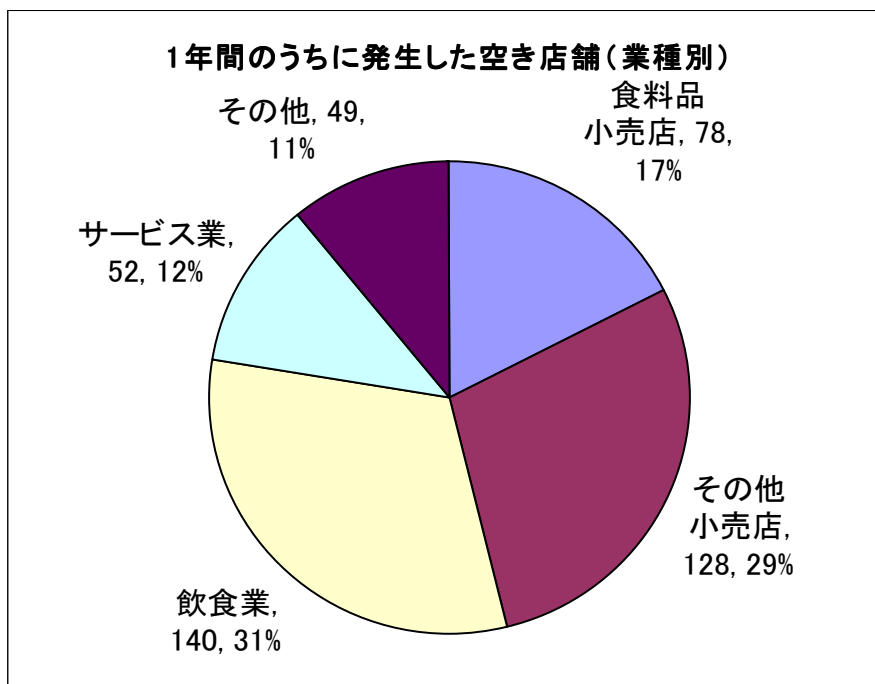
## 2 空き店舗発生原因

	廃業				移転			その他 不明
	経営不振 (廃業)	後継者難 (廃業)	転業(廃業)	その他 (廃業)	経営不振 (移転)	経営拡大 (移転)	その他 (移転)	
全体	1024	513	54	246	128	54	90	418
比率	41%	20%	2%	10%	5%	2%	4%	17%
市部	495	186	28	138	118	20	46	279
比率	38%	14%	2%	11%	9%	2%	4%	21%
町村部	1217	529	327	26	108	10	34	139
比率	51%	22%	14%	1%	5%	0.4%	1%	6%

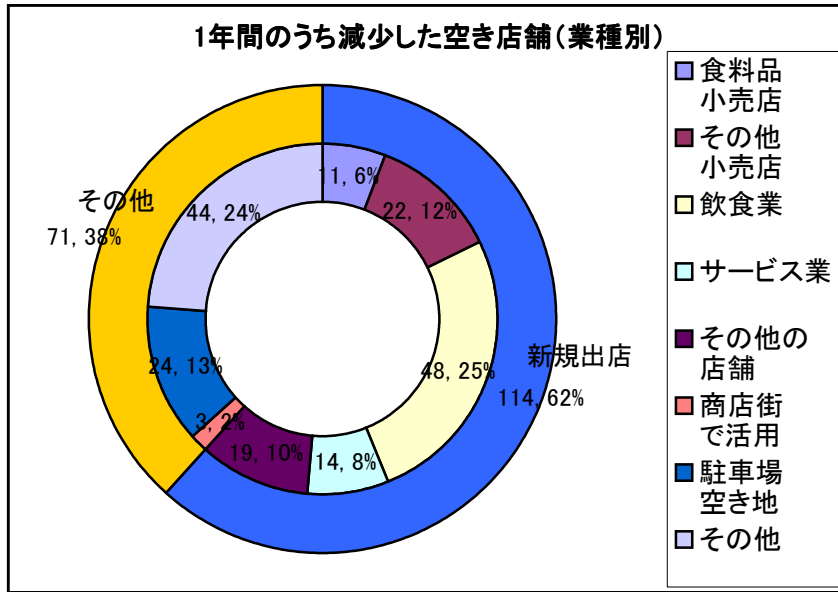


- 市部，町村部ともに「経営不振による廃業」「後継者難による廃業」等，廃業を原因とするものが多いが，市部よりも町村部においてその傾向が強い。

## 3 1年間のうち新たに発生した空き店舗

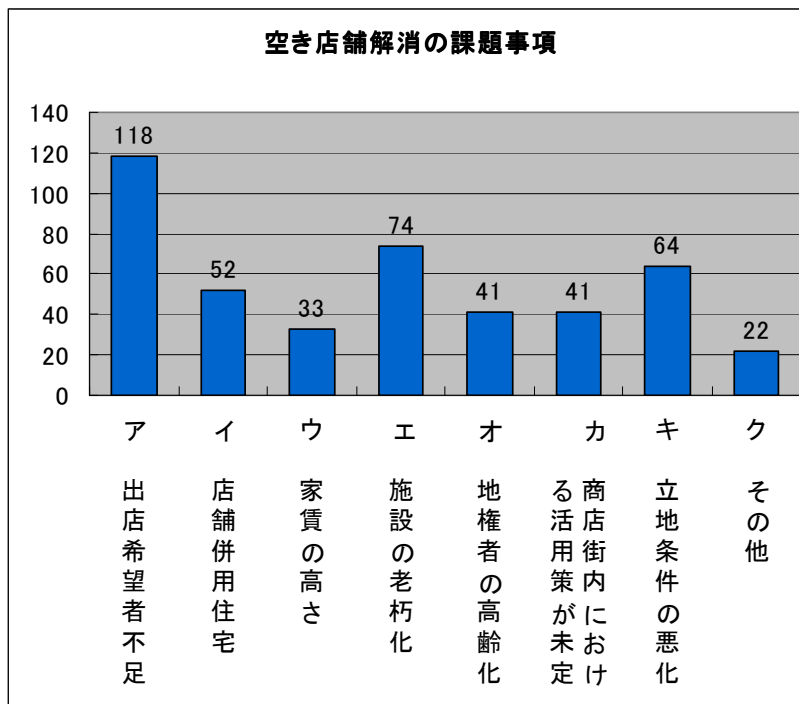


4 1年間のうち減少した空き店舗



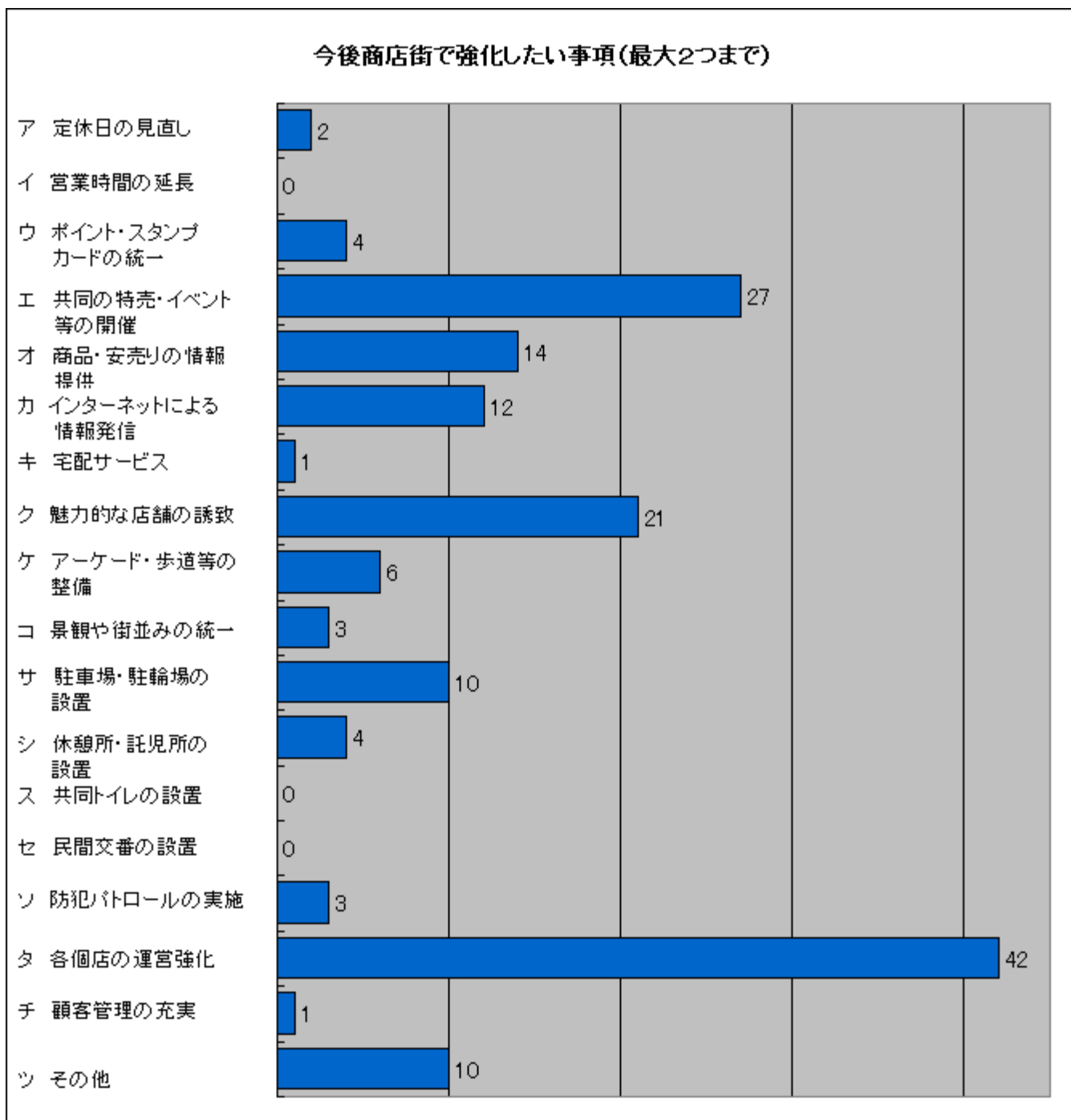
- 平成 20 年度調査以降の 1 年間で、新たに空き店舗となった店舗の元の業種としては、「飲食業」「その他小売店」の順に割合が大きい。
  - 平成 20 年度調査以降、空き店舗が減少した原因としては、新規出店によるもの 62%（飲食業 25%、その他小売店 12%他）、その他 38%（商店街で活用 2%、駐車場化・空き地化 13%他）の順であった。
  - 平成 20 年度調査以降の 1 年間で「商店街で活用」したことによって空き店舗が減少したとの回答は全体の 2%、3 件に留まった。
- ※ なお、個々の回答に誤差が見られる場合があることから、「平成 20 年度調査の空き店舗数+1年間のうち新たに発生した空き店舗-1年間のうち減少した空き店舗」と平成 21 年度調査の空き店舗数は一致しない。

5 空き店舗解消の課題事項（最大 2 つまで）



- 「出店希望者不足」が 118 で最も多く、「施設の老朽化」「立地条件の悪化」が続く。

## 6 商店街で今後強化したい事項



- 「各個店の運営強化」が最も多く、続いて「共同の特売・イベント等の開催」「魅力的な店舗の誘致」となっている。

7 実施している商店街活性化対策の内容等（自由記入欄）

抜粋

- 歩車道の洗浄，街路樹の年1回の剪定による管理，街路灯の定期塗替えなど，街の安全，安心，清潔を保ち，季節の花々による店頭の飾りつけなどに力を入れて，来街者を気持ちよく迎えるようにしている。
- 飲食店が多い商店会なので，個々の飲食店の独自性を出していきたい。
- 防犯パトロールを増やし，安心感を醸成する。
- 各個店のHPの作成等，自助努力を応援したい。
- PTA，町内会を巻き込んだ夏の祭り，中元売り出しのイベント実施，年末売り出しを続けることで，商店会も元気でやっていることを知らしめる。
  
- 各店舗の高齢化につき，後継者がなく閉店する店が増えている状況である。
- 経営者の高齢化により，商店会の活動が停止状態である。
- 人口の減少により各種のイベントもマンネリ化の傾向にあり，商店街の活性化も商店の廃業等，減少によりおぼつかない。店舗がまばらであり，街を引き立てるのに苦労する。
- 交通・バス・タクシー乗り場の開発により，道路の渋滞が激化している。歴史深い町，通りを守ってほしい。

本調査についての問合せ先

宮城県経済商工観光部商工経営支援課 商業振興班

〒980-8570

宮城県仙台市本町3-8-1 県庁14階

e-mail [syokeisisin@pref.miyagi.jp](mailto:syokeisisin@pref.miyagi.jp)

電話 022-211-2746 FAX 022-211-2749